

令和5年7月20日

教職員

各位

大学院生

医学系研究科長

医学獣医学総合研究科長

大学院特別セミナーの開催について（通知）

標記のことにつきまして、下記のとおり開催いたしますのでご出席ください。
なお、大学院生については、当日出欠の確認をしますのでご承知おきください。

記

日時： 令和5年9月12日（火） 17時30分～

場所： 宮崎大学医学部臨床講義室 105教室

講師： 高島 康弘（岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 准教授）

演題： 「原虫感染症耐性における種差と個体差」

講演内容： トキソプラズマ強毒株は一般的な実験用マウスのいずれの系統も100%殺してしまいます。しかし宿主を全滅させる寄生虫がフィールドで生存できるはずはありません。つまり野生動物や家畜（あるいは人）の中には、強毒株に感染しても発症せず保虫できる種や個体がいるはずで、このように実験用マウスを用いた感染実験は、自然界に生息する動物が持つ多様なレベルの感染感受性のうち、ごく一部を反映しているにすぎません。このような感染感受性の種差や個体差はどのようなメカニズムでうまれるのでしょうか？国内外の最新の知見に、岐阜大学－宮崎大学の共同研究結果を交えてご紹介いたします。